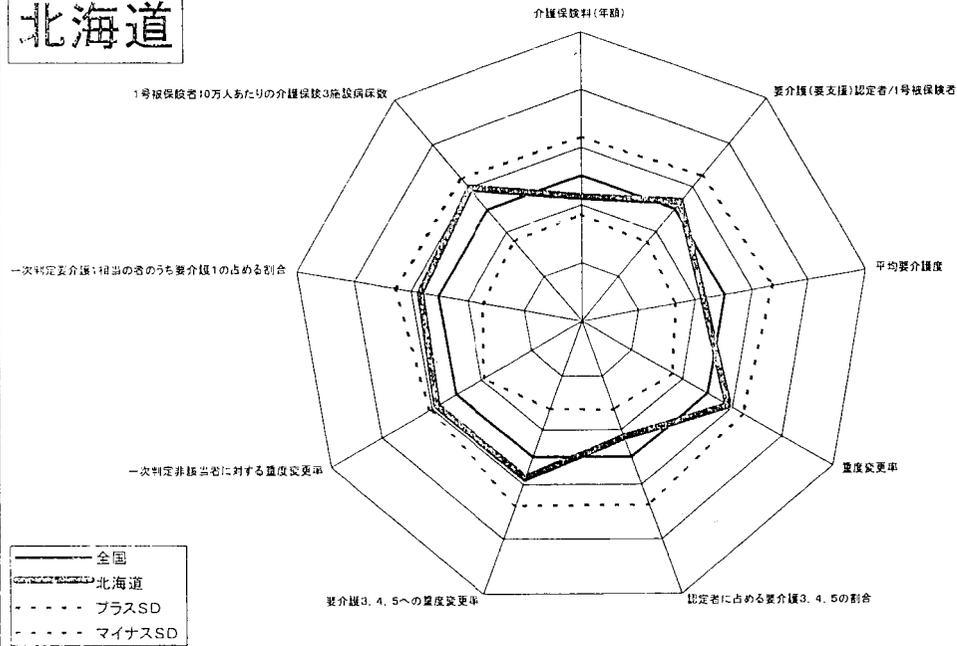


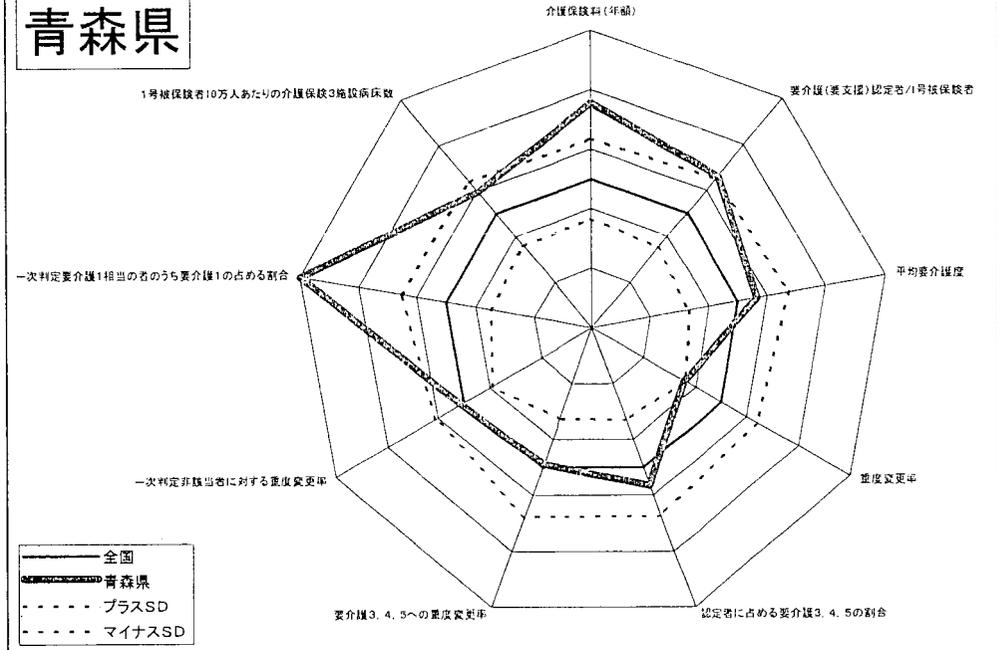
# 要介護認定の適正化に 関する評価指標

(都道府県別参考資料)

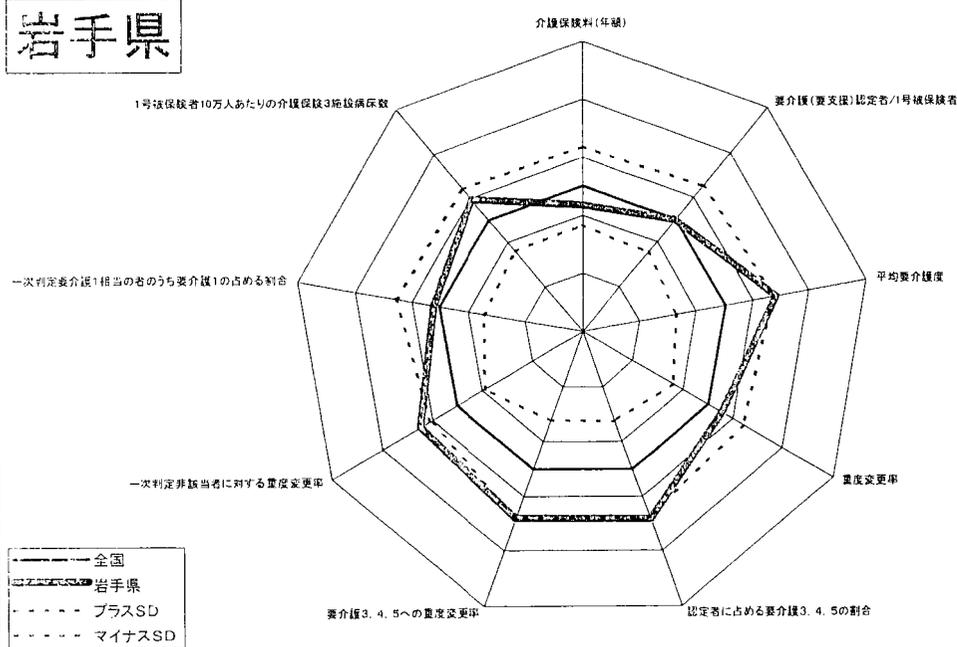
# 北海道



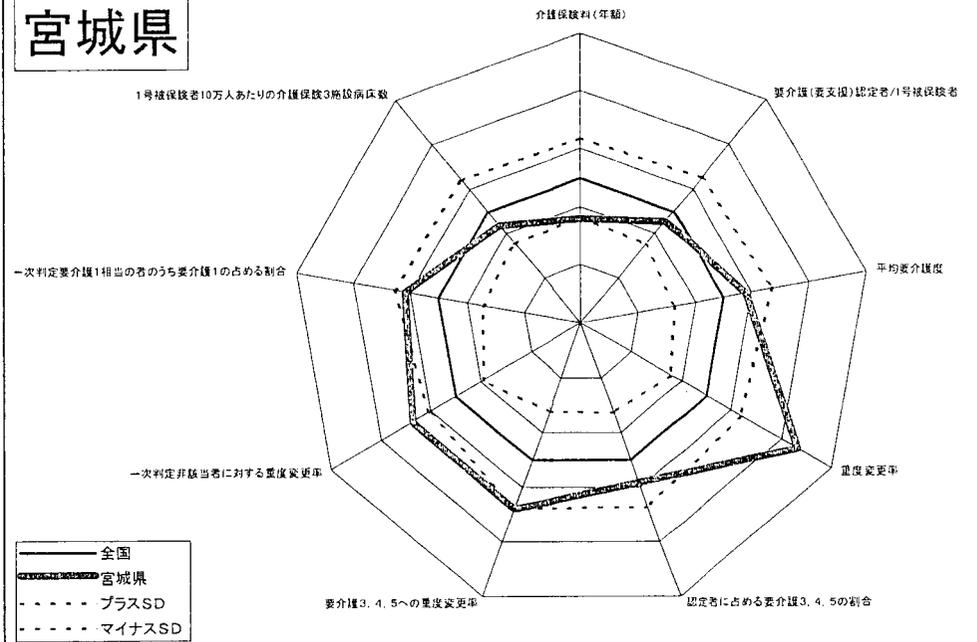
# 青森県



# 岩手県

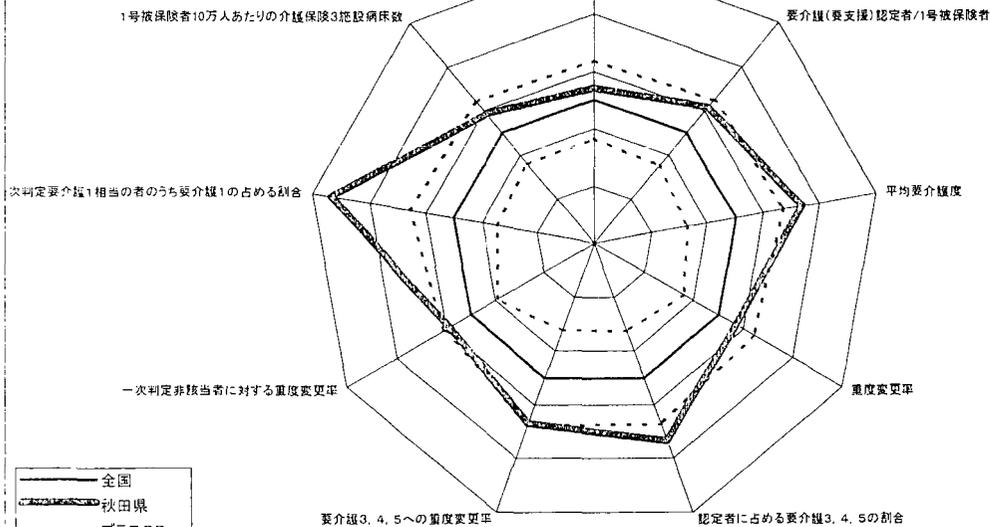


# 宮城県



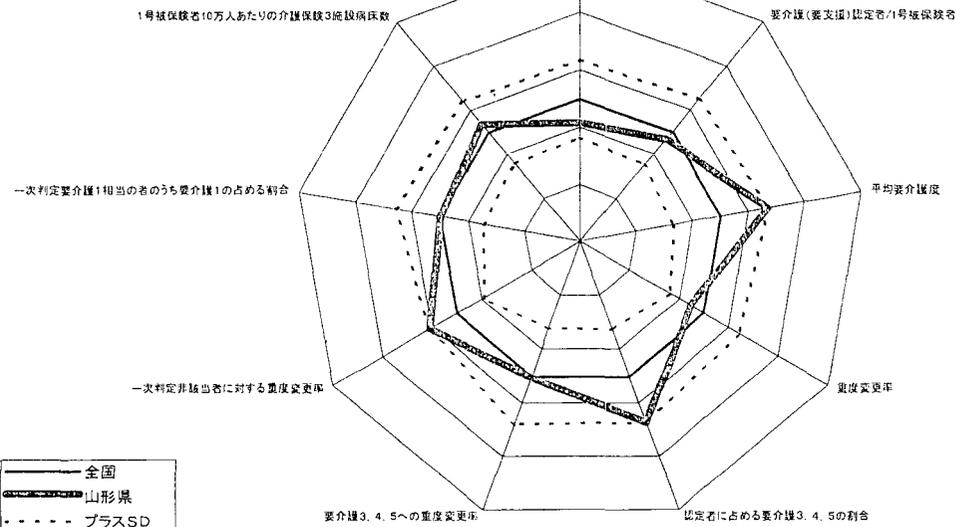
# 秋田県

介護保険料(年齢)



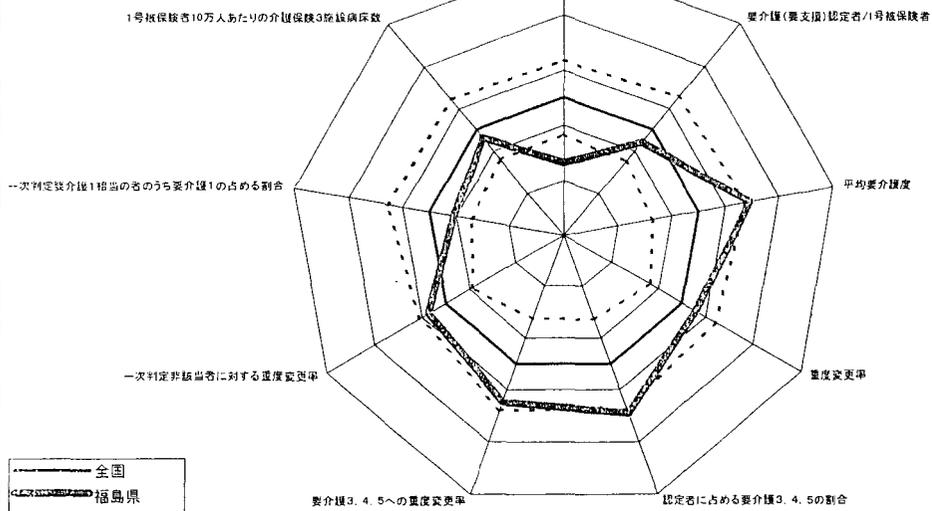
# 山形県

介護保険料(年齢)



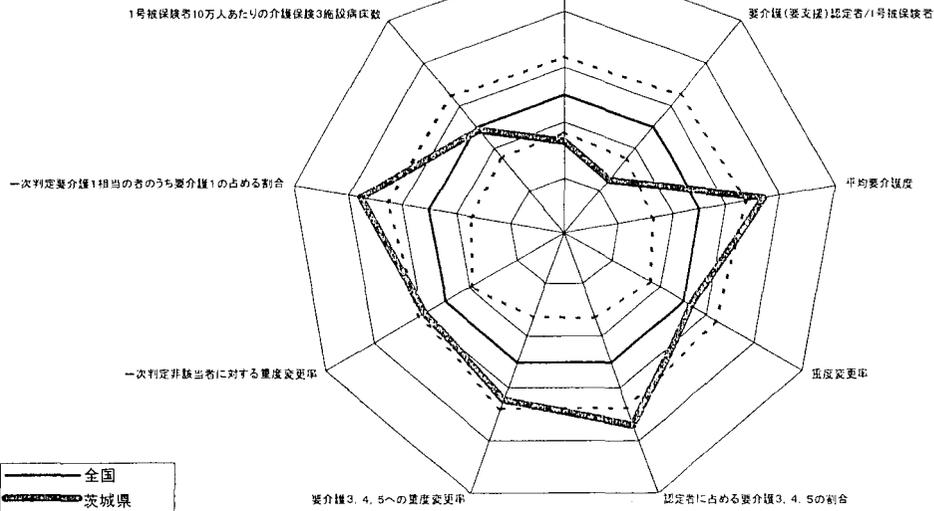
# 福島県

介護保険料(年齢)

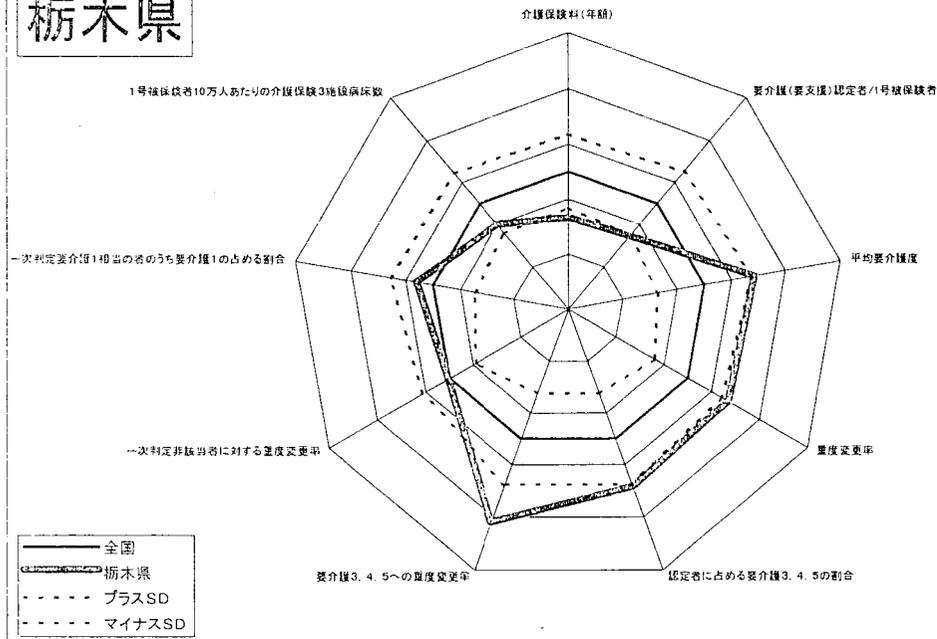


# 茨城県

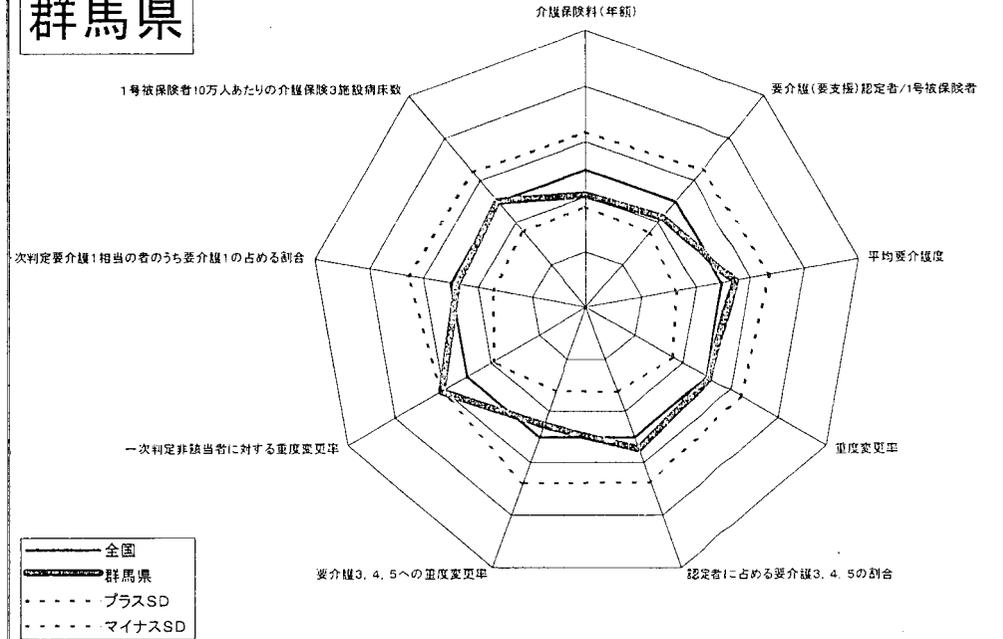
介護保険料(年齢)



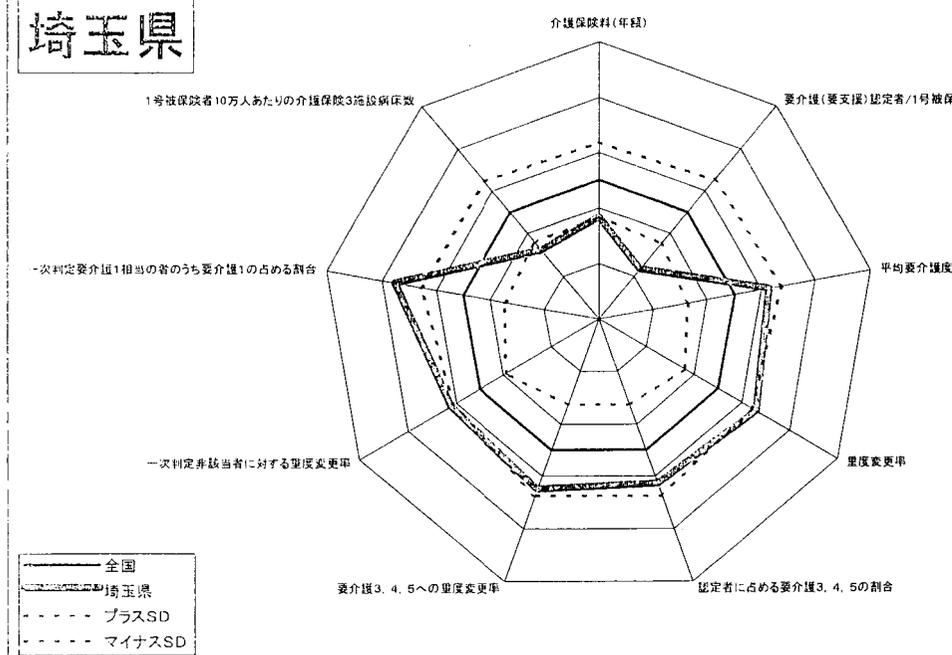
# 栃木県



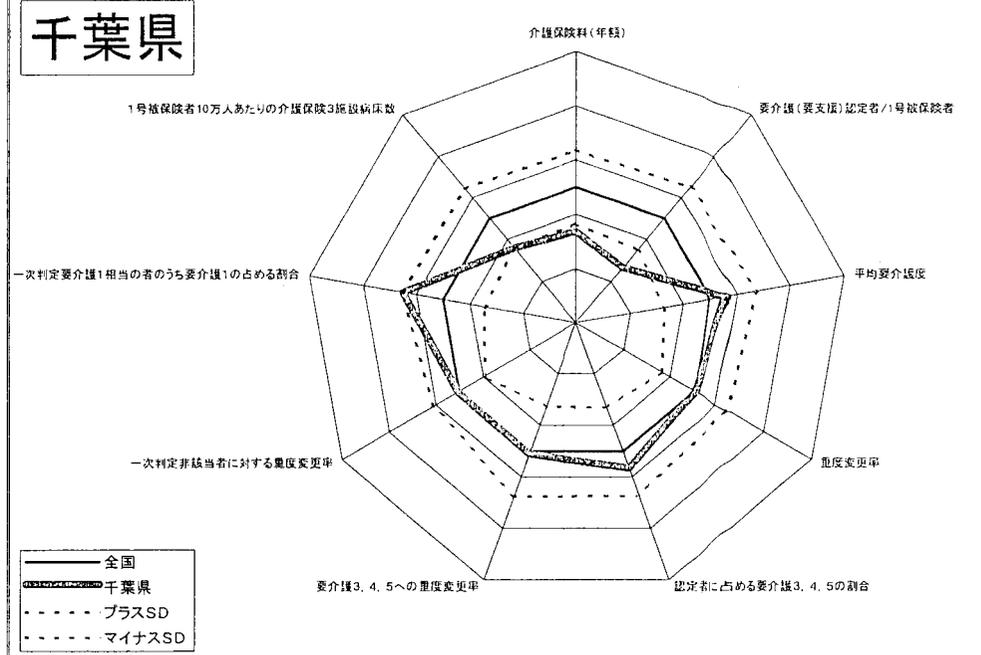
# 群馬県



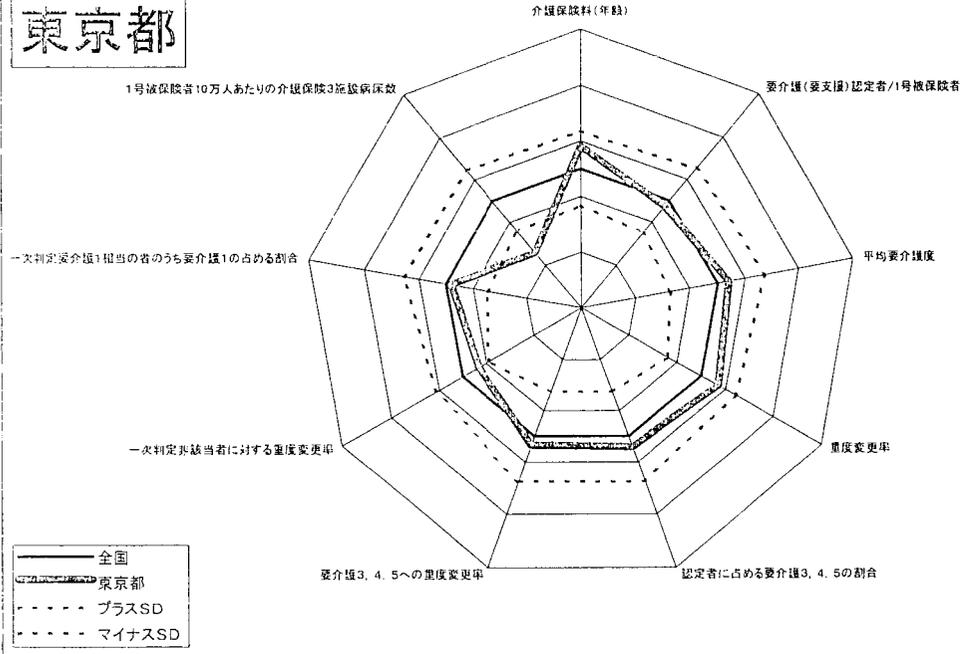
# 埼玉県



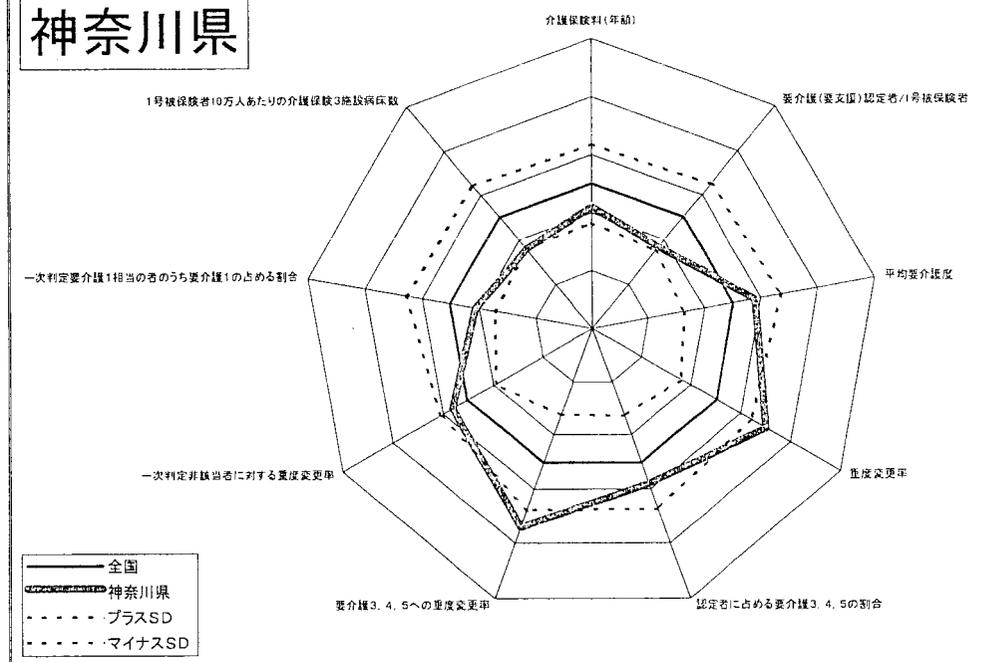
# 千葉県



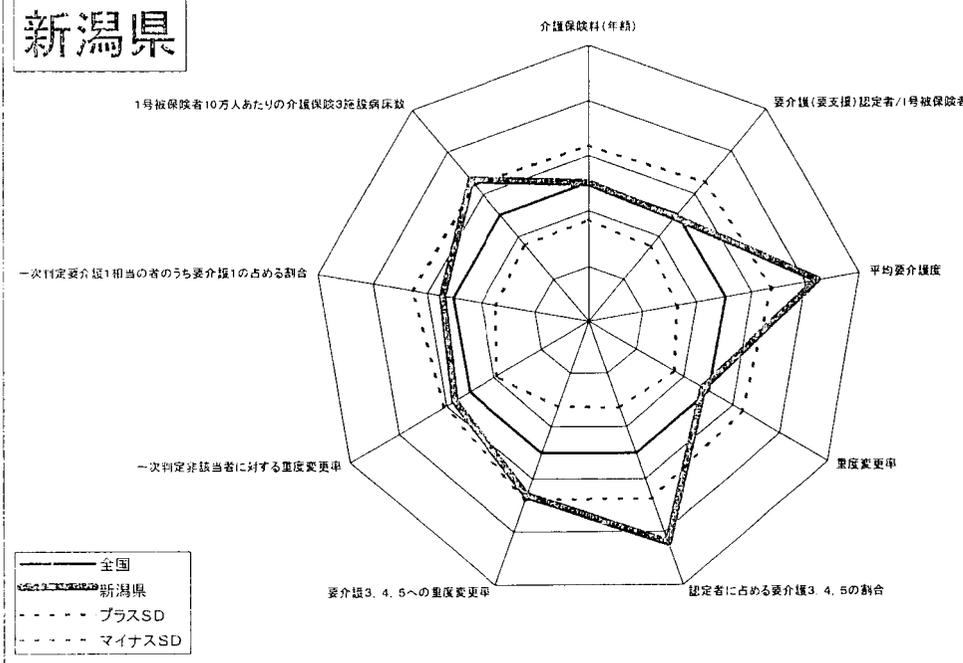
# 東京都



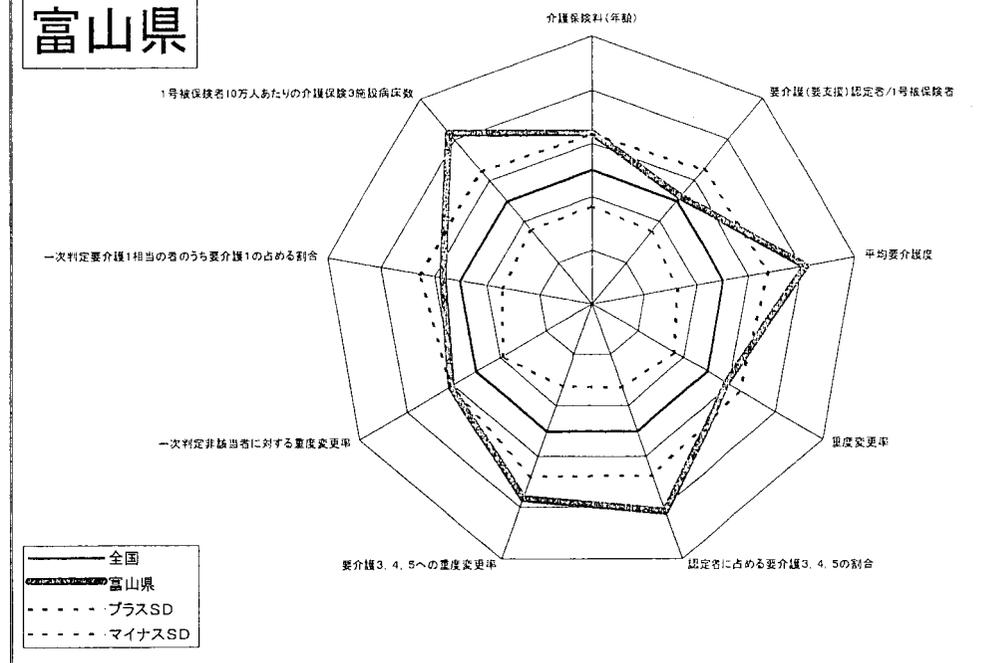
# 神奈川県



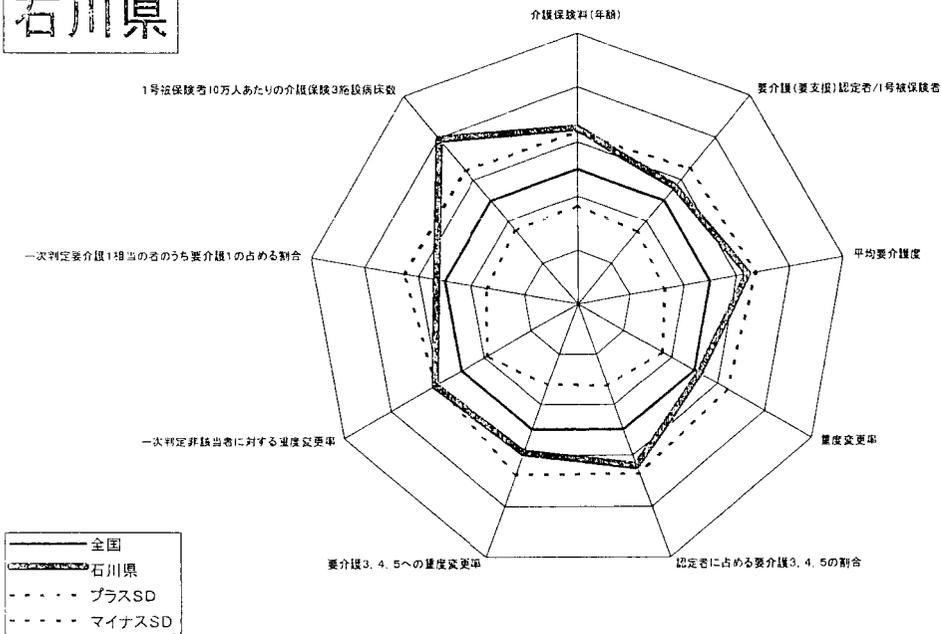
# 新潟県



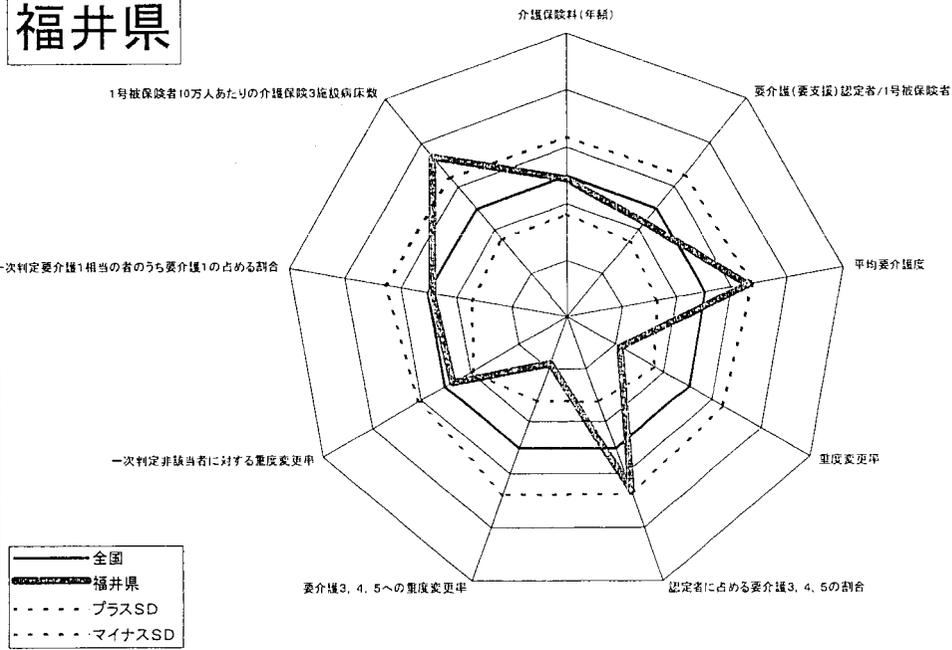
# 富山県



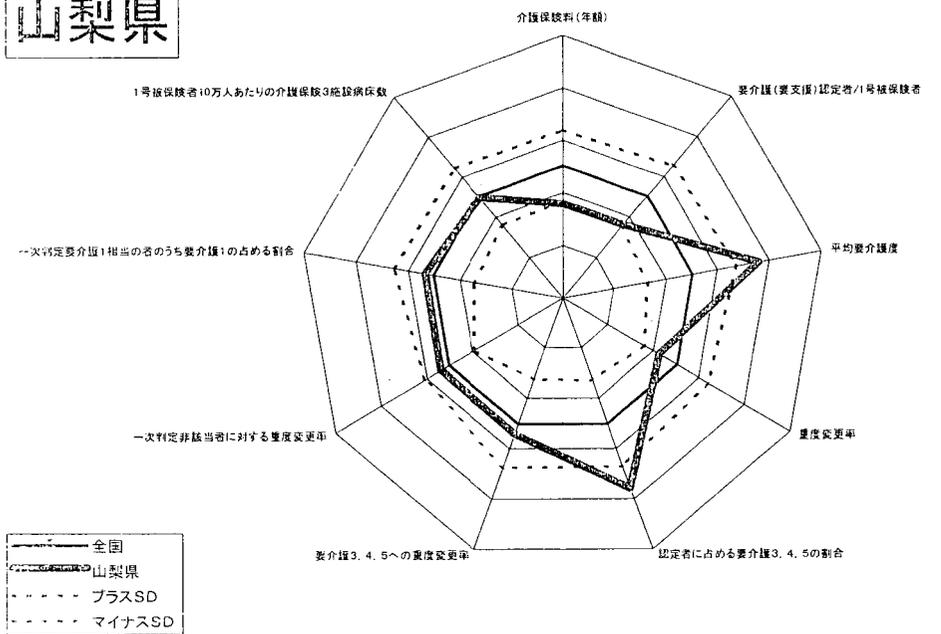
# 石川県



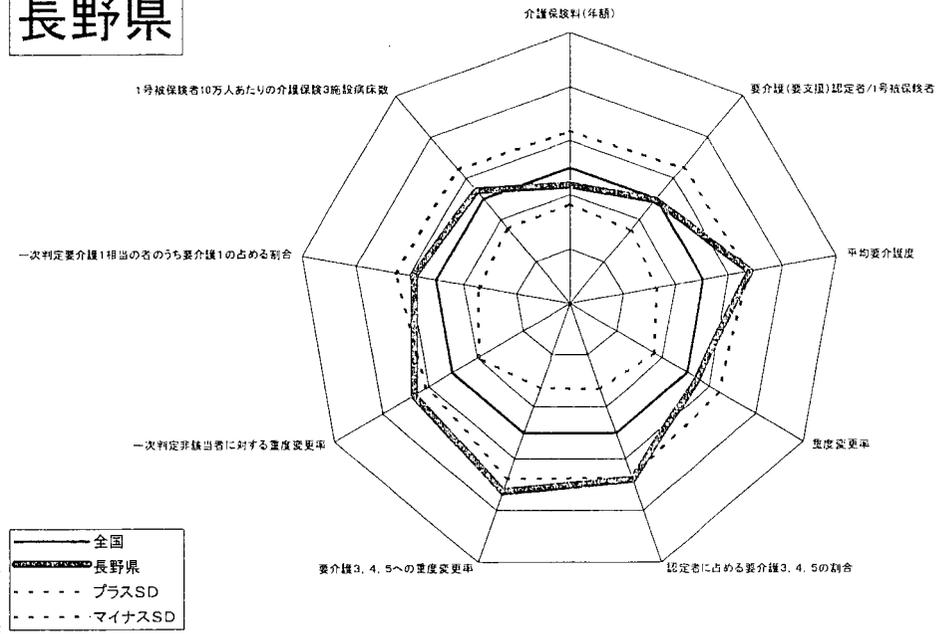
# 福井県



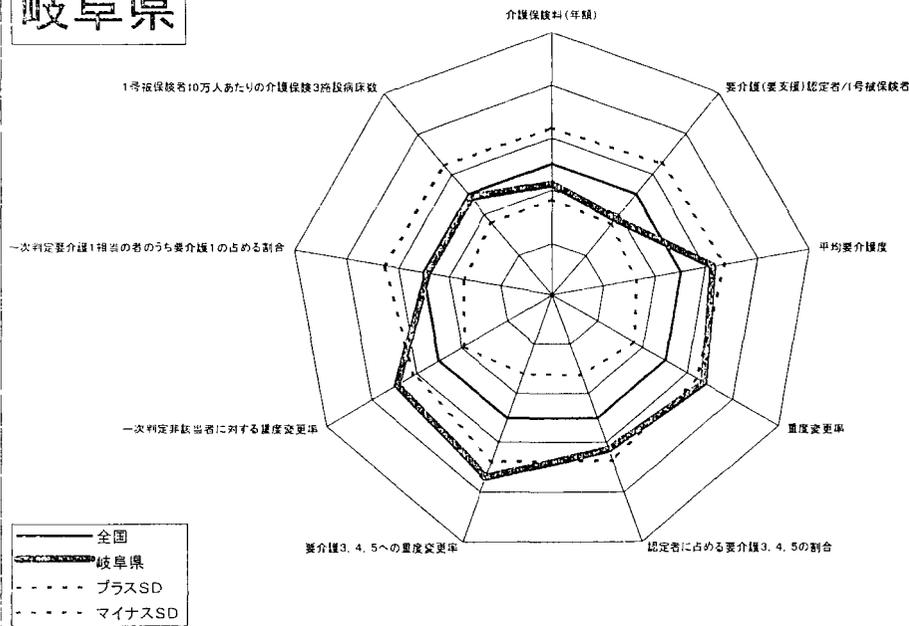
# 山梨県



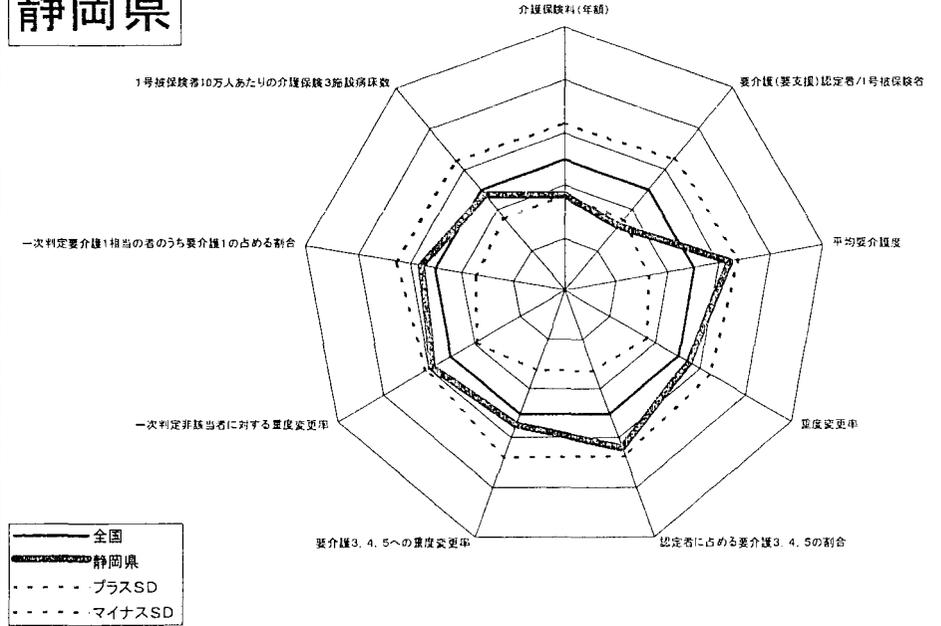
# 長野県



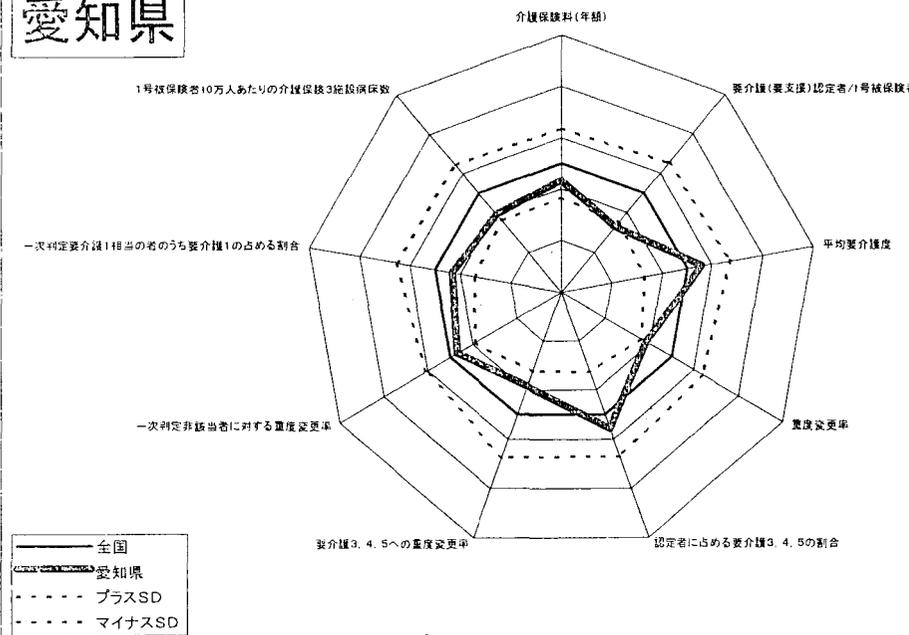
# 岐阜県



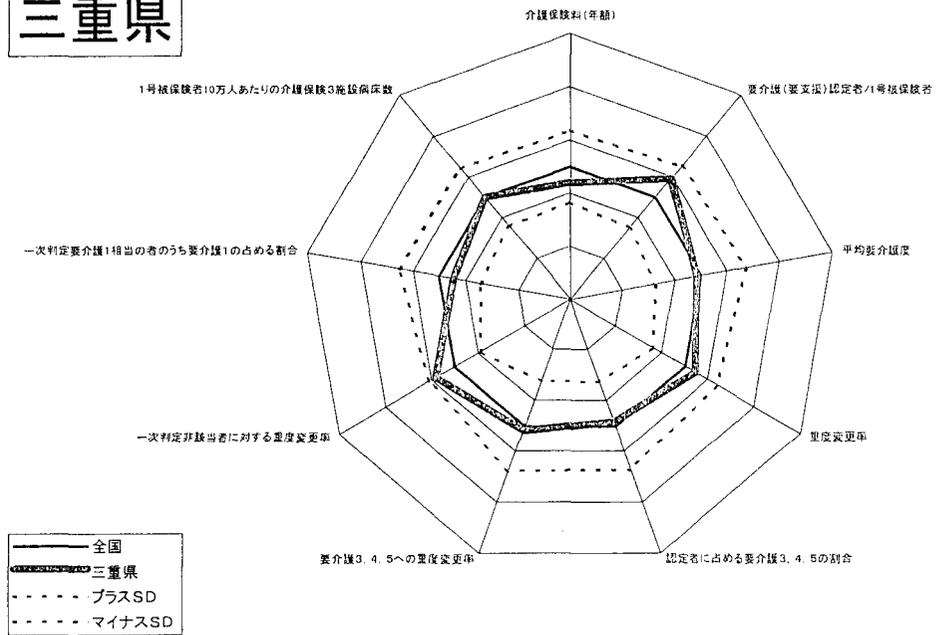
# 静岡県



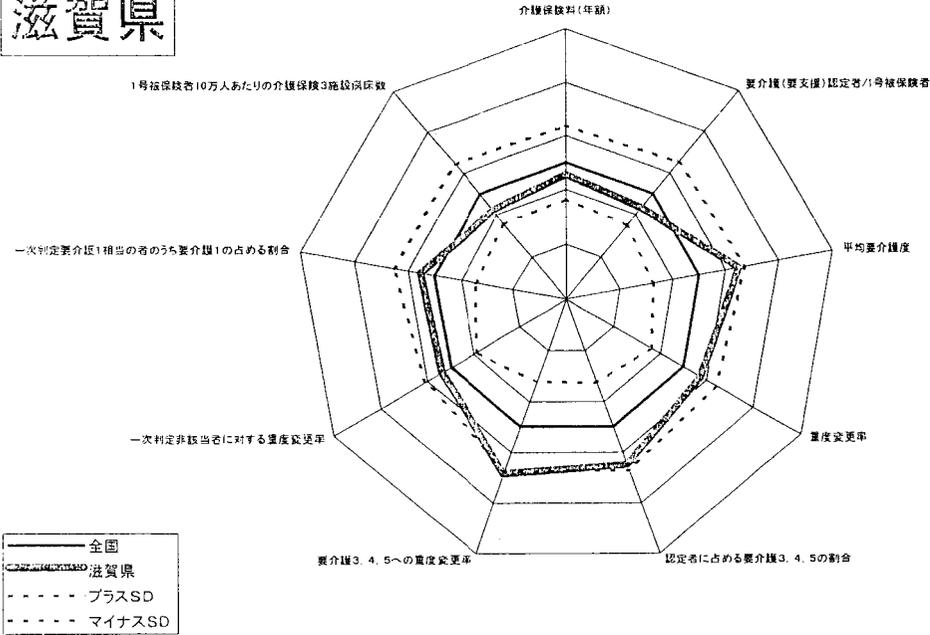
# 愛知県



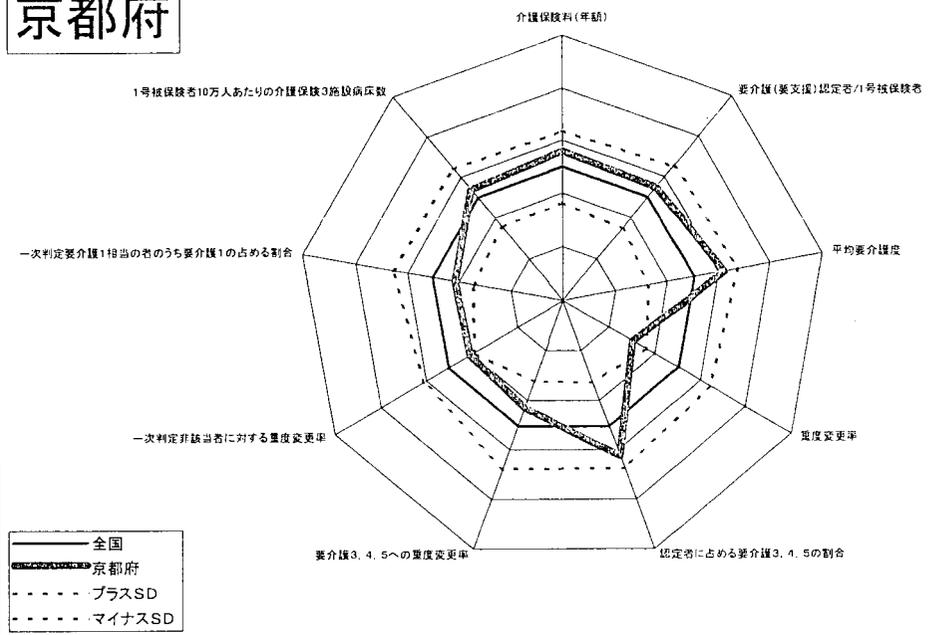
# 三重県



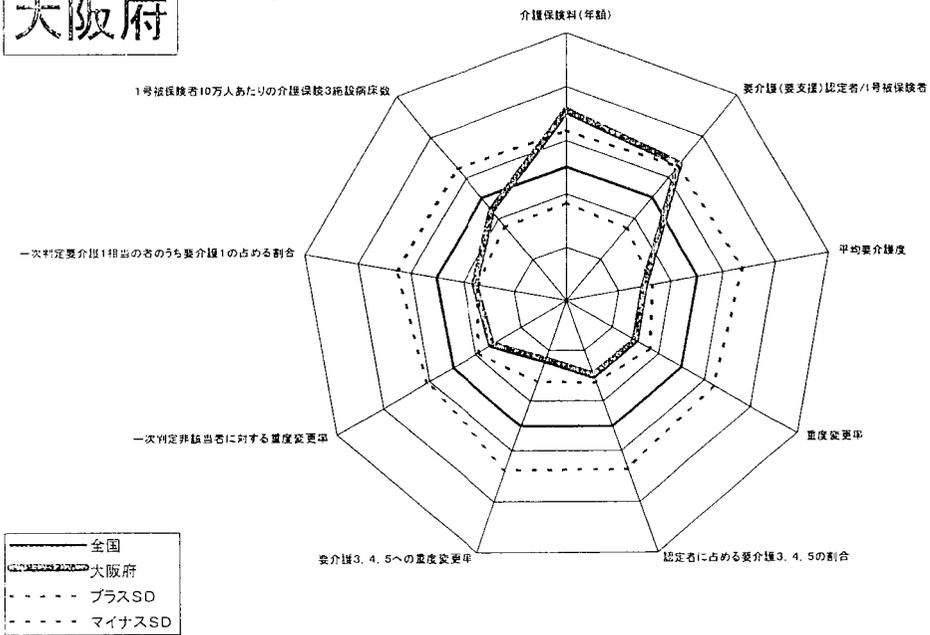
# 滋賀県



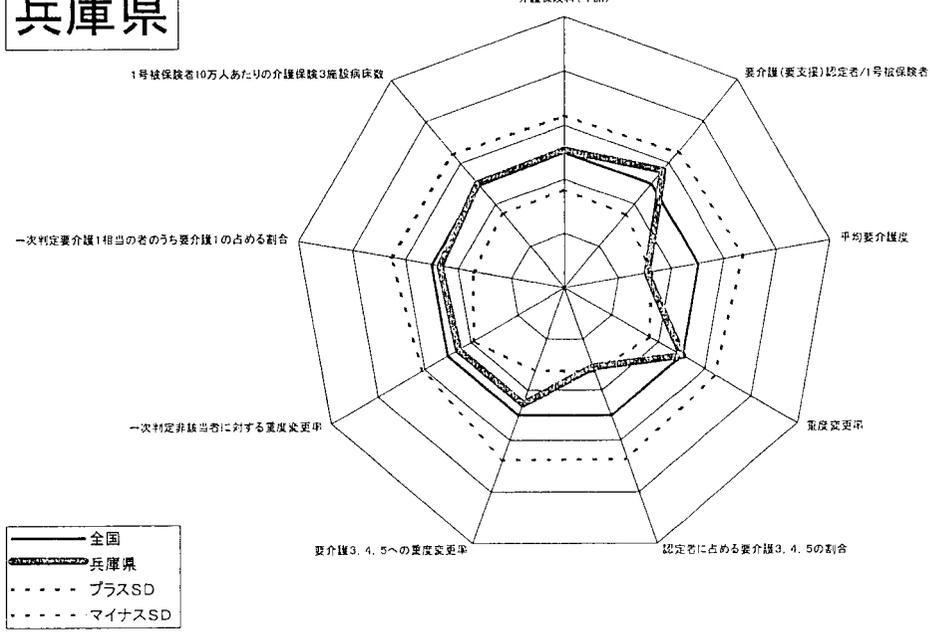
# 京都府



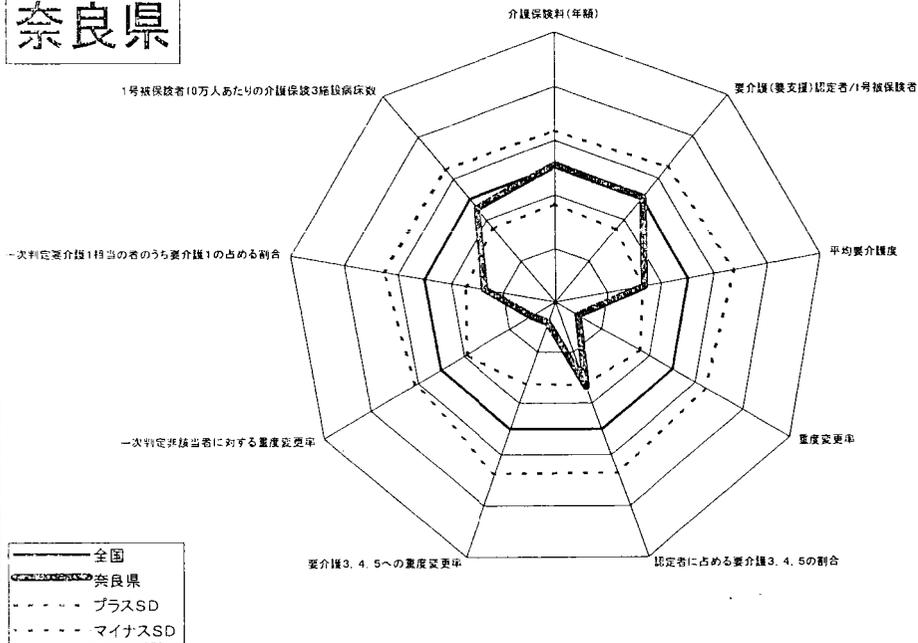
# 大阪府



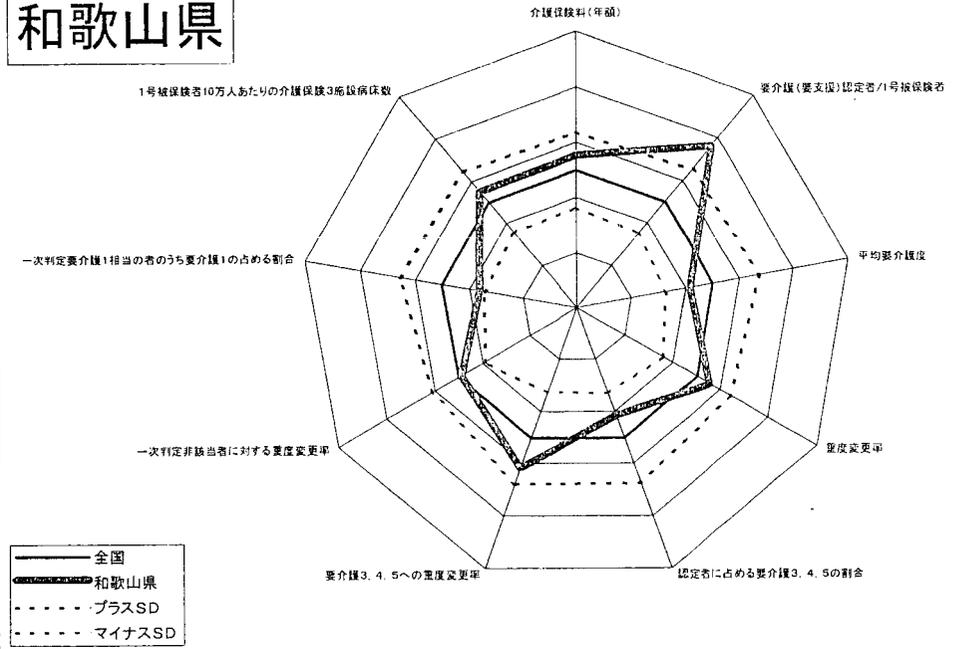
# 兵庫県



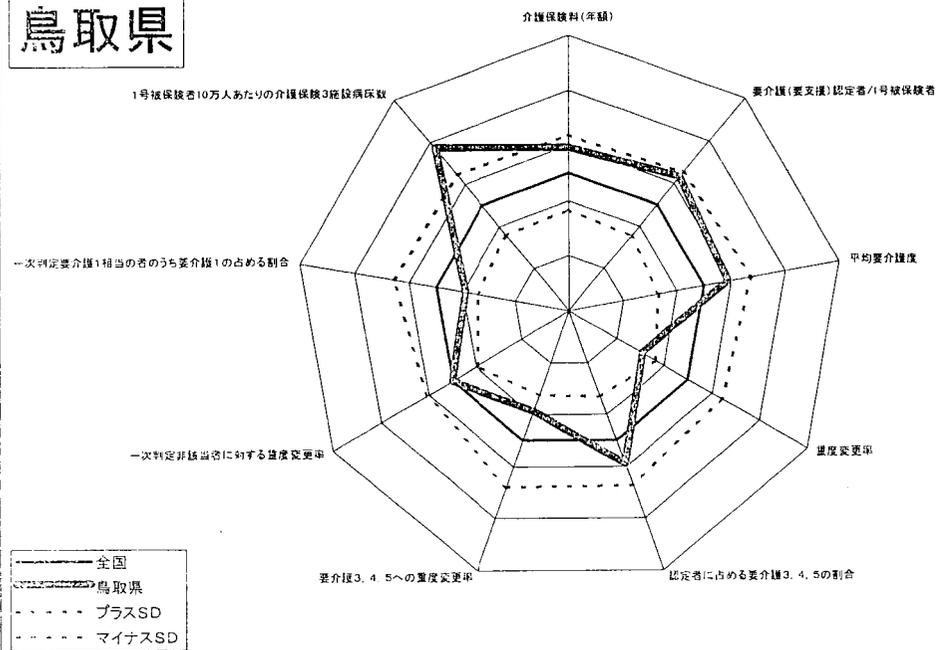
# 奈良県



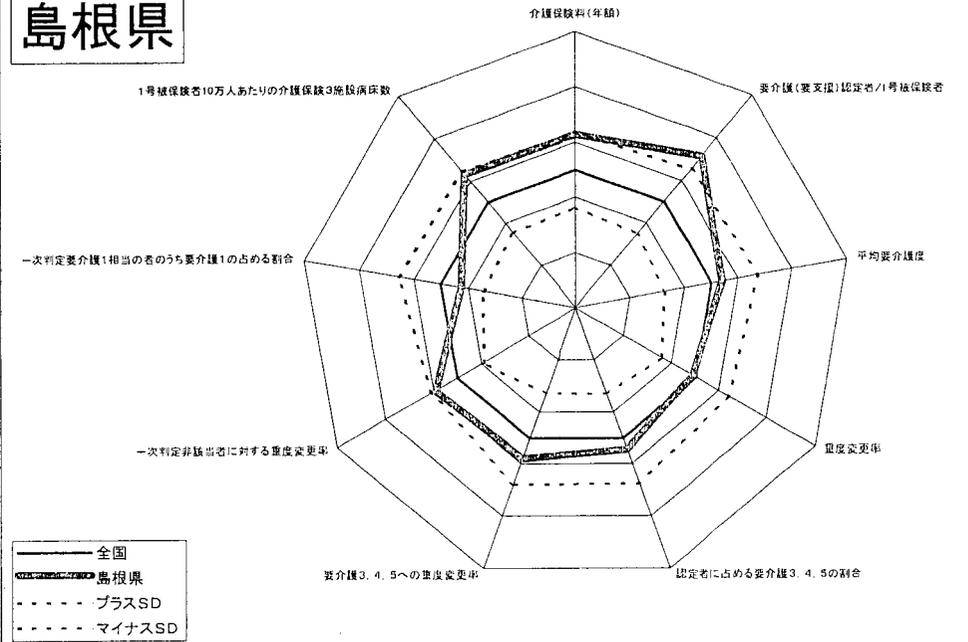
# 和歌山県



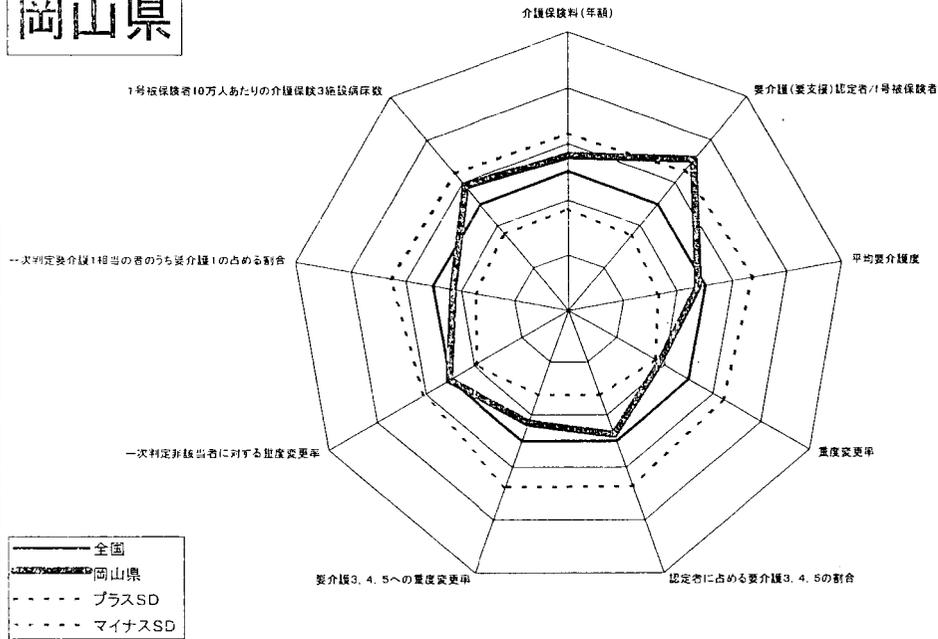
# 鳥取県



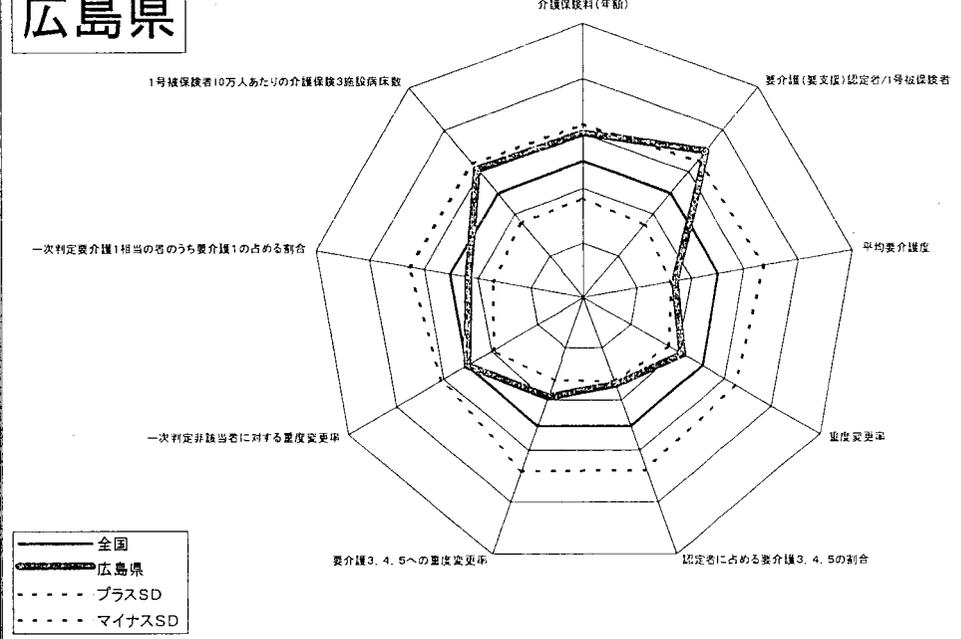
# 島根県



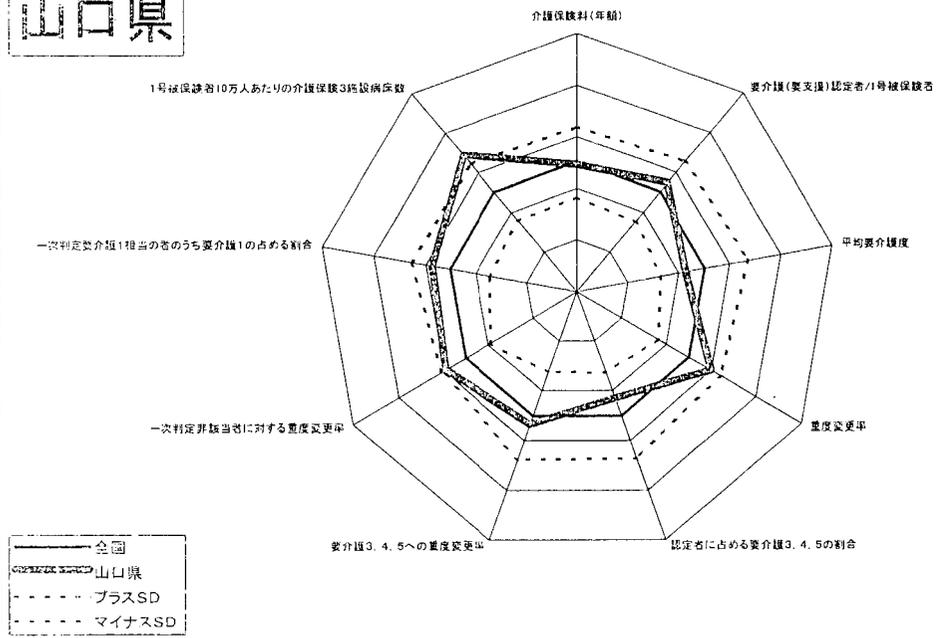
# 岡山県



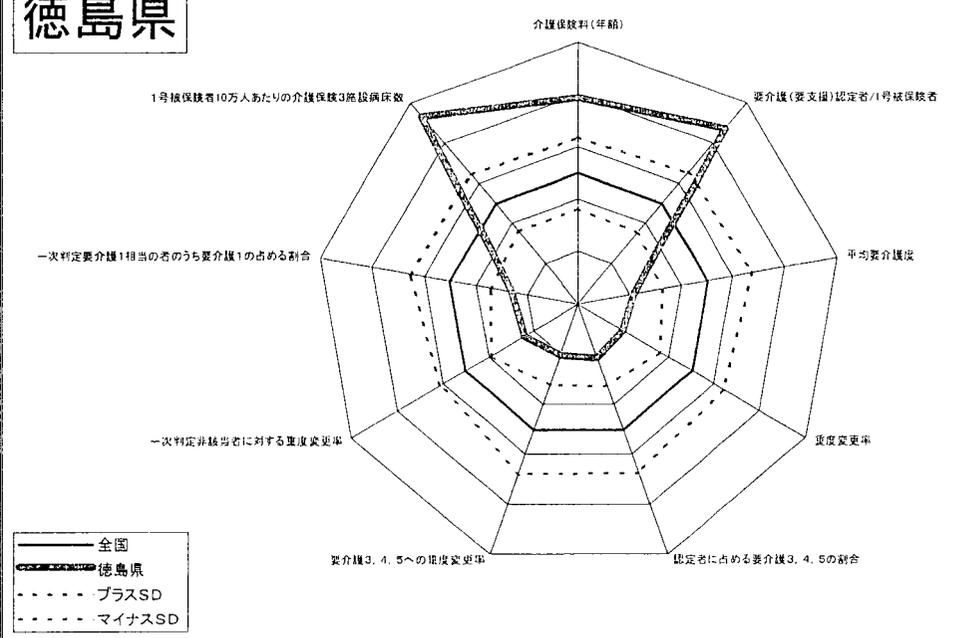
# 広島県



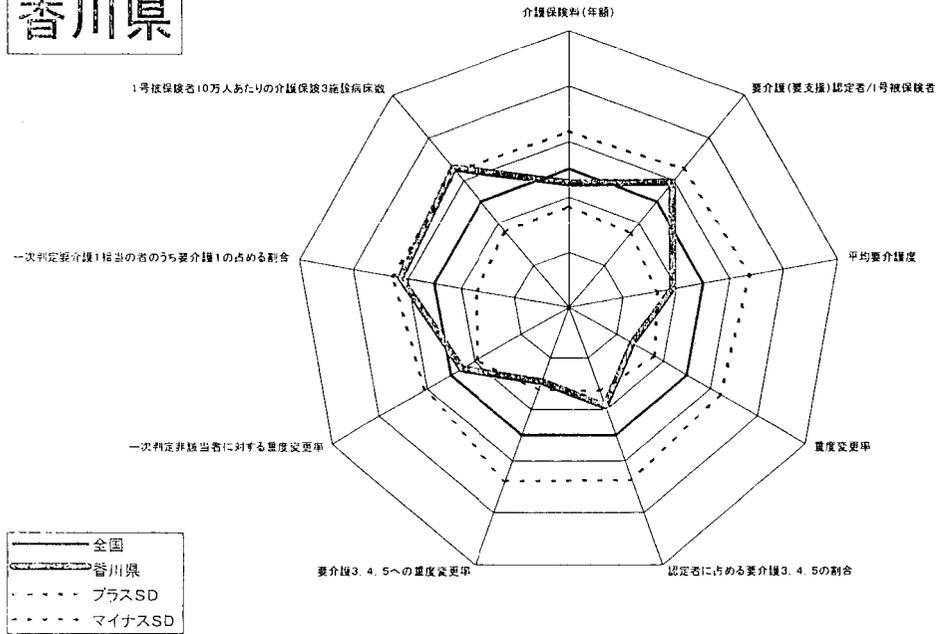
# 山口県



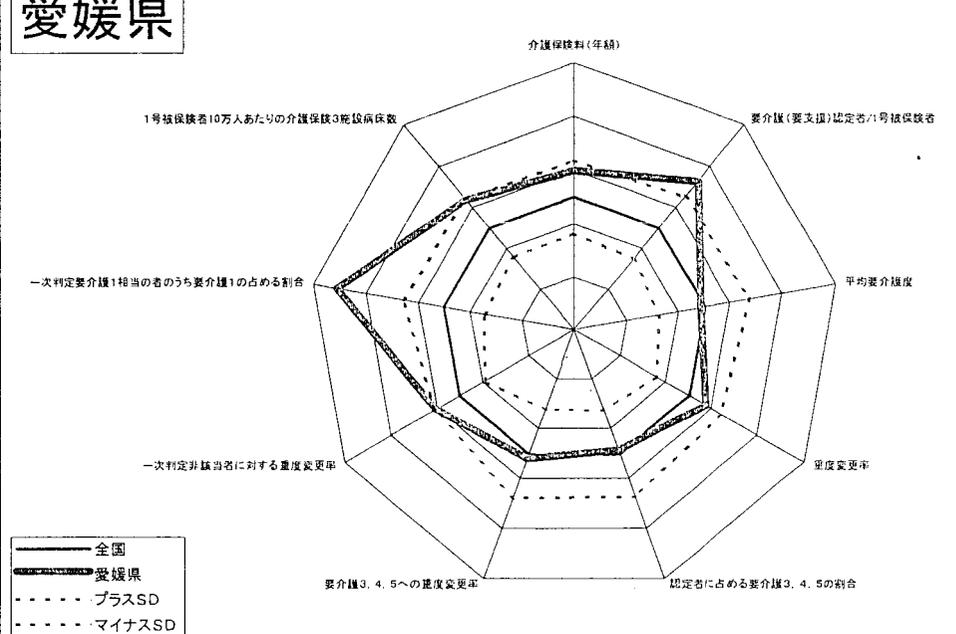
# 徳島県



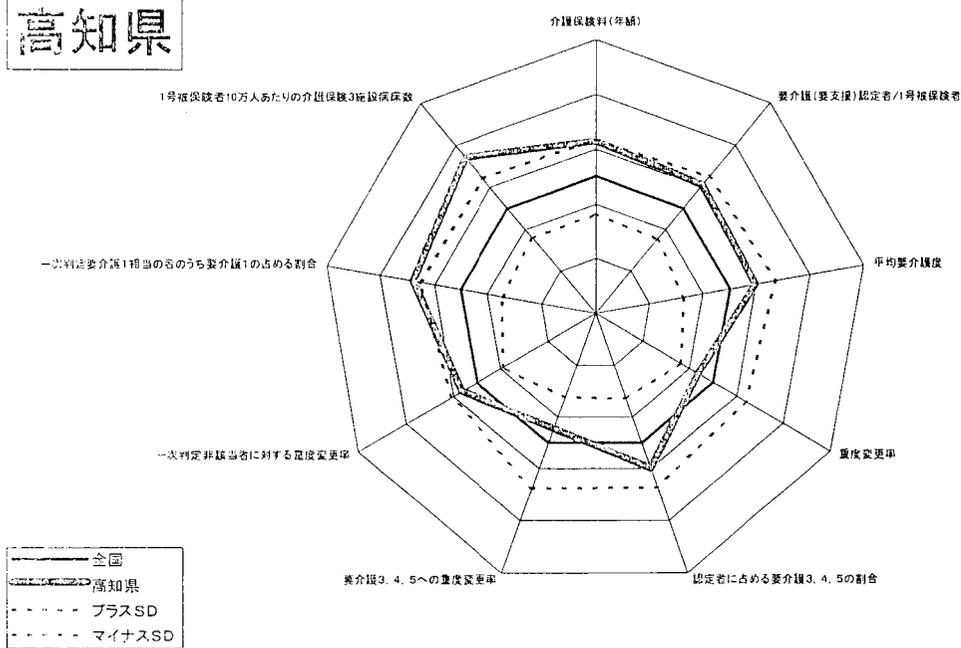
# 香川県



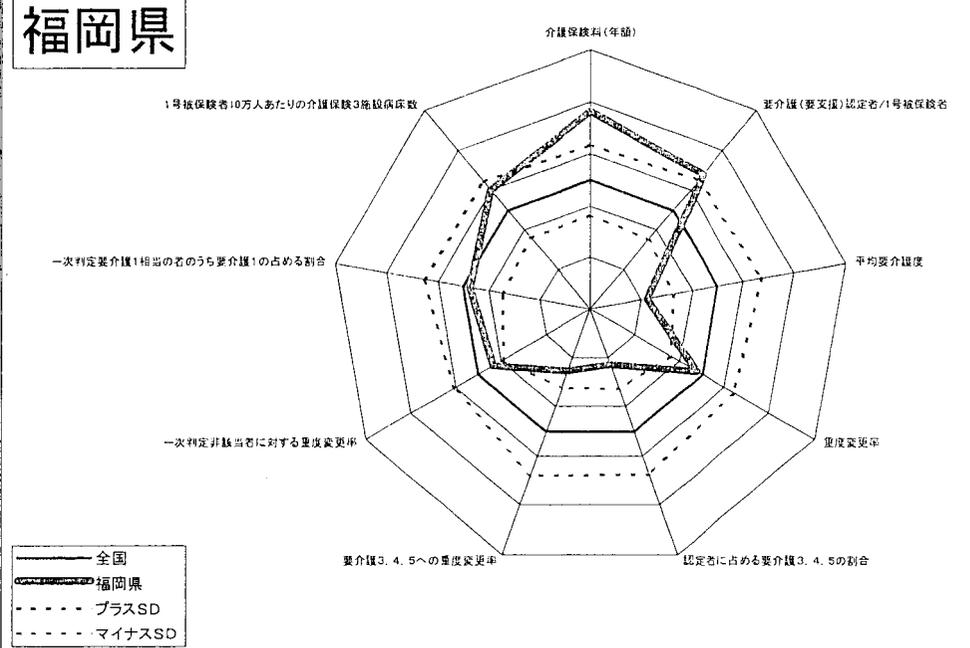
# 愛媛県



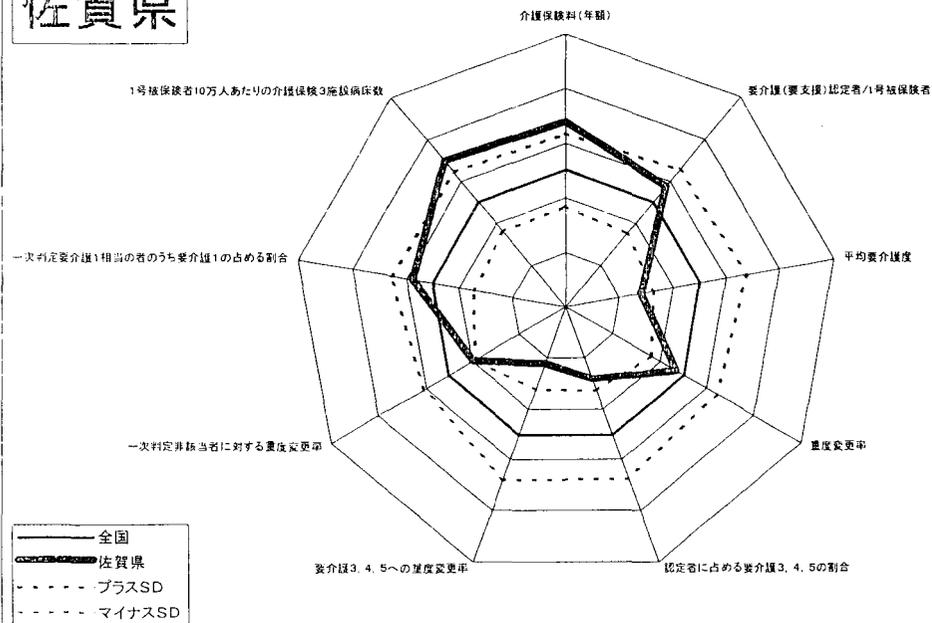
# 高知県



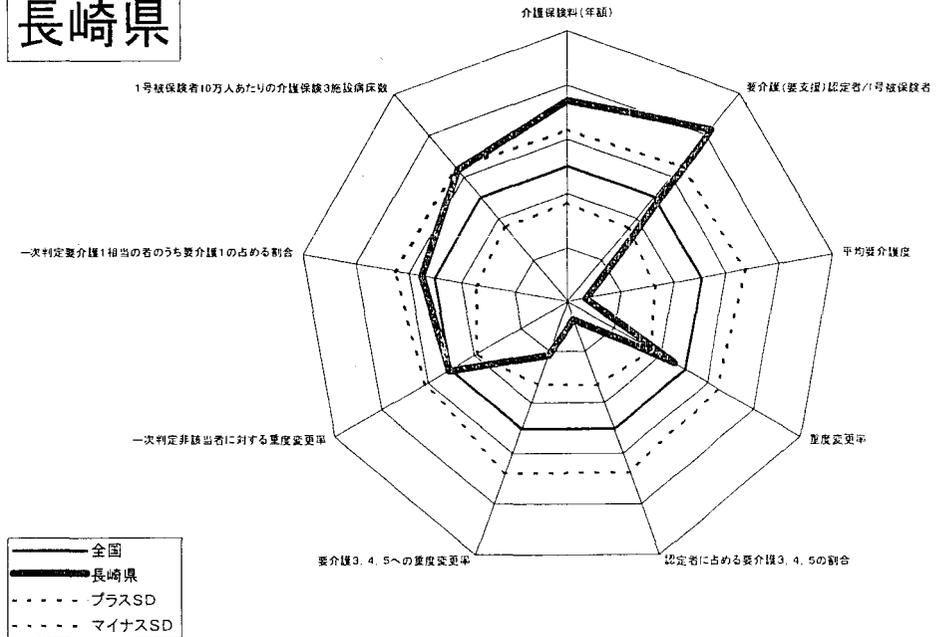
# 福岡県



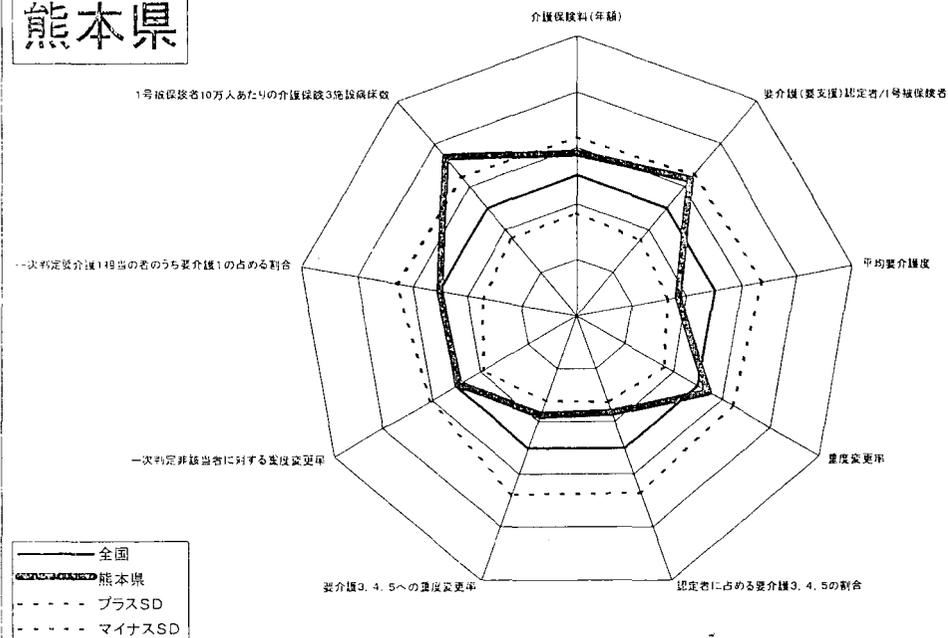
# 佐賀県



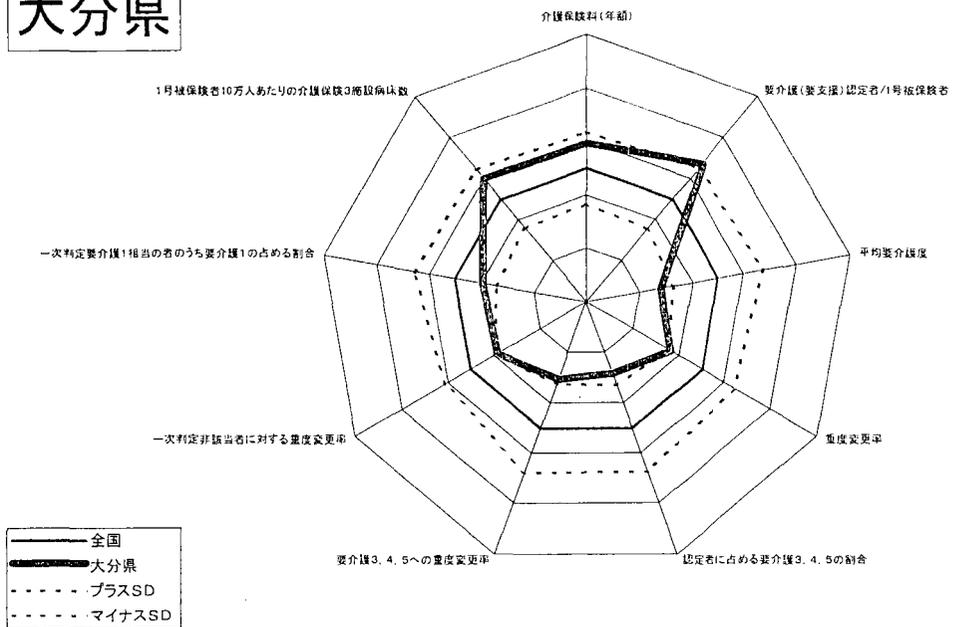
# 長崎県



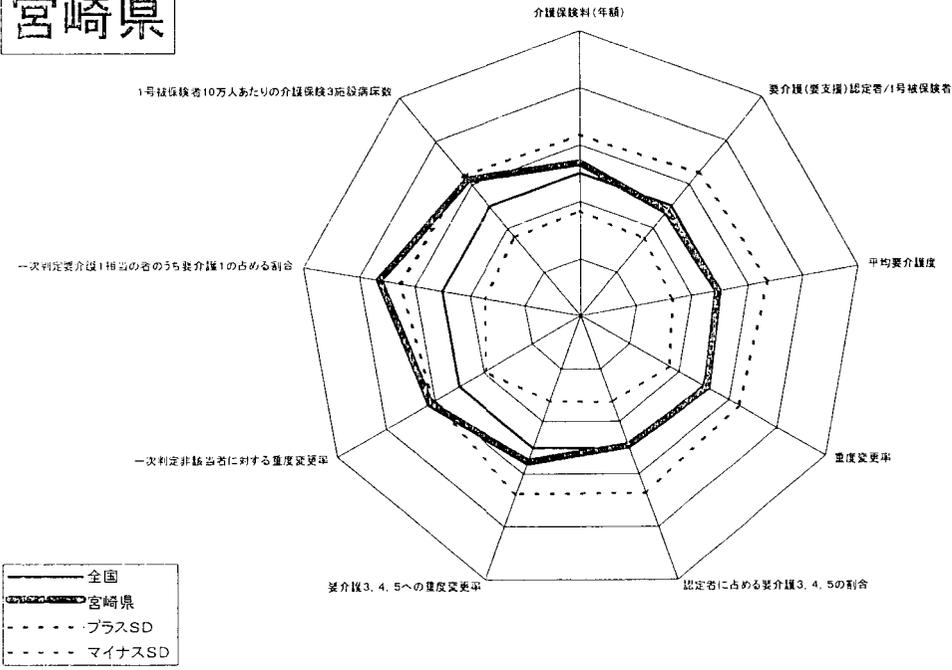
# 熊本県



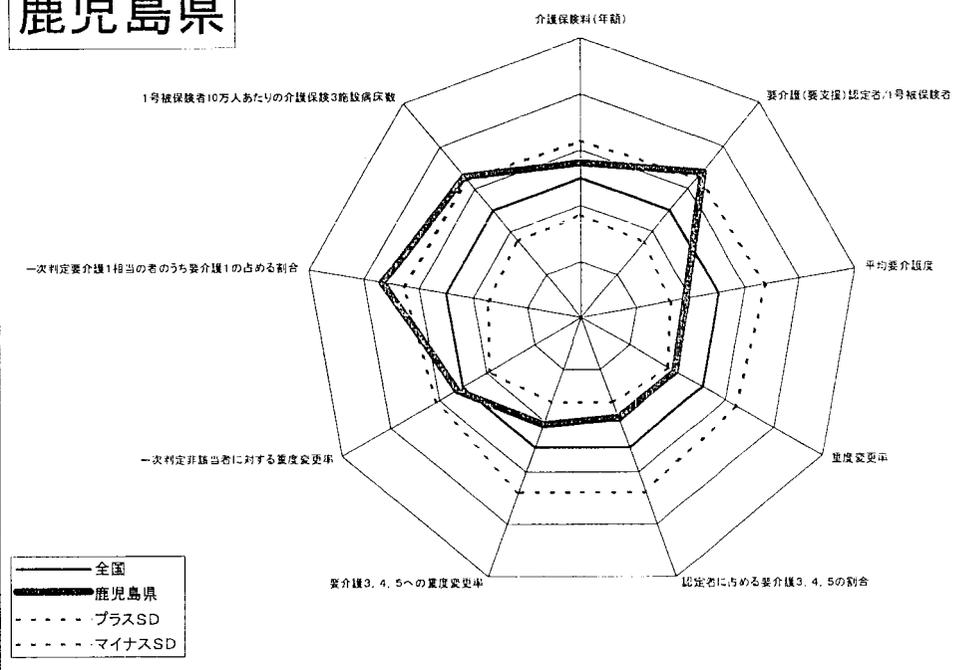
# 大分県



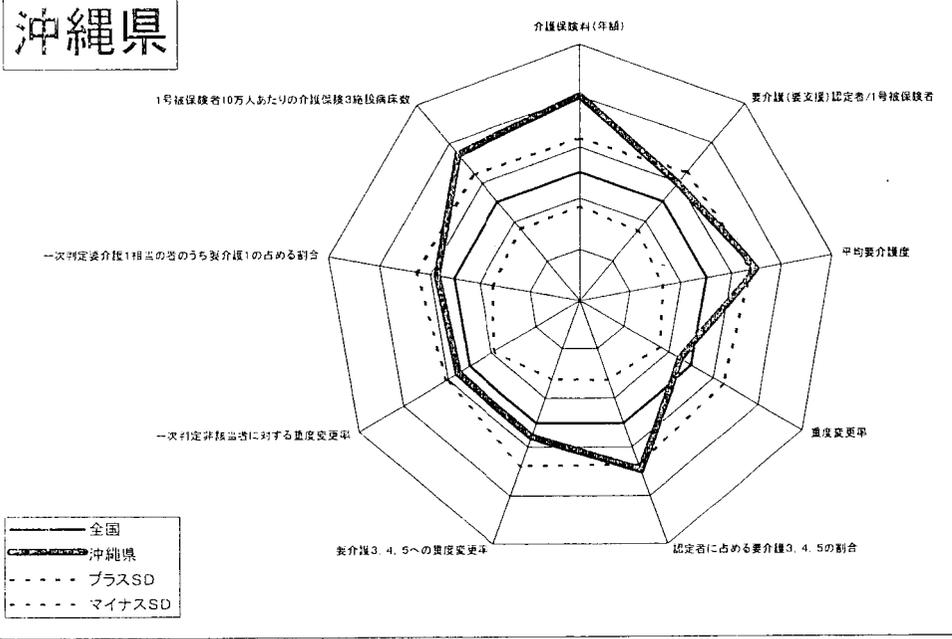
# 宮崎県



# 鹿児島県



# 沖縄県



## 標準偏差 (S.D.)

分散  $V$  あるいは不偏分散  $U$  の平方根である。平均値と同じ次元を持つ。

$$S.D. = \sqrt{V}$$

$$S.D. = \sqrt{U}$$

正規分布においては、平均値と標準偏差は以下のような意味を持つ(正規分布の上側確率の計算, 正規分布のパーセント点の計算, 正規分布表を参照のこと)。

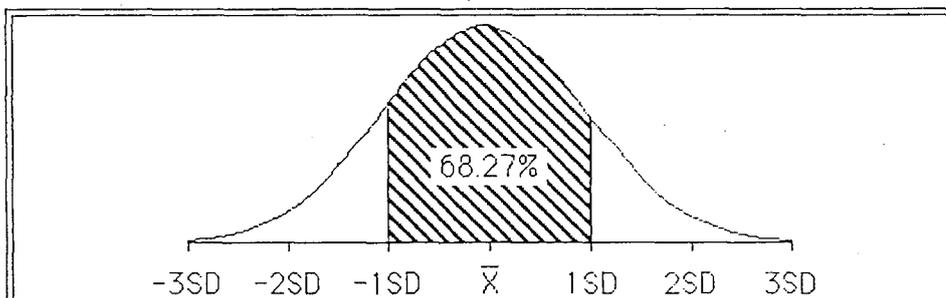


図 1. 正規分布における標準偏差の意味—1

平均値  $\pm$  1 標準偏差の範囲内には全データの 68.27% が含まれる。

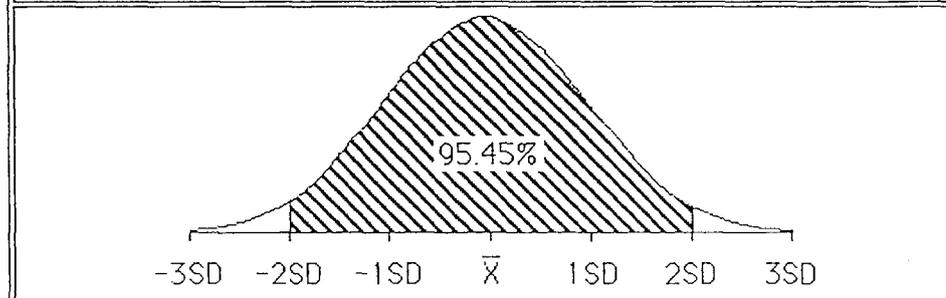


図 2. 正規分布における標準偏差の意味—2

平均値  $\pm$  2 標準偏差の範囲内には全データの 95.45% が含まれる。

指標の説明

指標	算出方法	出典
1. 介護保険料(年額)	$(\text{保険料(年額)の総和}) \div \text{保険者数}$	平成 18 年度要介護認定実態調査より
2. 要介護(要支援)認定者 /1 号被保険者	$\text{要介護(要支援)認定者} \div \text{1号被保険者}$	介護保険事業状況報告(暫定)(平成 19 年 1 月分)より算出
3. 平均要介護度	$\{(\text{要支援 1 認定者数} + \text{要支援 2 認定者数} + \text{経過的要介護認定者数}) \times 0.375 + \text{要介護 1 認定者数} \times 1 + \text{要介護 2 認定者数} \times 2 + \text{要介護 3 認定者数} \times 3 + \text{要介護 4 認定者数} \times 4 + \text{要介護 5 認定者数} \times 5\} \div \text{総要介護(要支援)認定者数}$	介護保険事業状況報告(暫定)(平成 19 年 1 月分)より算出
4. 重度変更率	$\text{一次判定結果に対して二次判定結果が重度に変更されている件数} \div \text{総認定件数}$	平成 18 年度認定支援ネットワークの集計値より算出
5. 認定者に占める要介護 3, 4, 5 の割合	$(\text{要介護 3 認定者数} + \text{要介護 4 認定者数} + \text{要介護 5 認定者数}) \div \text{総要介護(要支援)認定者数}$	介護保険事業状況報告(暫定)(平成 19 年 1 月分)より算出
6. 要介護 3, 4, 5 への重度変更率	$\text{一次判定結果から重度変更があり二次判定結果にて要介護 3, 要介護 4, 要介護 5 に認定された件数} \div \text{総認定件数(総非該当件数} + \text{総要介護(要支援)認定件数)}$	平成 18 年度認定支援ネットワークの集計値より算出
7. 一次判定非該当者に対する重度変更率	$\text{一次判定で非該当と判定された件数のうち重度変更された件数} \div \text{一次判定で非該当と判定された件数}$	平成 18 年度認定支援ネットワークの集計値より算出
8. 一次判定要介護 1 相当の者のうち要介護 1 の占める割合	$\text{一次判定で要介護 1 相当と判定された者のうち要介護 1 と判定された者} \div \text{一次判定で要介護 1 相当と判定された件数}$	平成 18 年度認定支援ネットワークの集計値より算出
9. 1 号被保険者 10 万人あたりの介護保険 3 施設病床数	$\text{介護保険施設定員} \div \text{65 歳以上人口(平成 17 年国勢調査第 1 次基本集計)}$	平成 17 年度介護サービス施設・事業所調査より

## 標準偏差 (S.D.)

分散  $V$  あるいは不偏分散  $U$  の平方根である。平均値と同じ次元を持つ。

$$S.D. = \sqrt{V}$$

$$S.D. = \sqrt{U}$$

正規分布においては、平均値と標準偏差は以下のような意味を持つ(正規分布の上側確率の計算、正規分布のパーセント点の計算、正規分布表を参照のこと)。

